

## 「神戸市一般廃棄物処理基本計画」改定案にかかるご意見の概要と神戸市の考え方

○募集期間：2025年12月15日（月曜）～2026年1月16日（金曜）

○ご意見数：4通（6件）

※ご意見の内容は、趣旨を損なわない程度に要約しています。

### （1）文言の修正等にかかるもの

	意見の概要	市の考え方
1	市民の安全と持続可能な廃棄物処理体制を確保するため、乾電池、ボタン電池、リチウム電池等を市の回収対象として明確に位置づけ、全市域で統一した回収体制を構築することを、本計画に明記すべきである。	リチウムイオン電池については、p.17に「リチウムイオン電池及び使用製品の適正な回収処理を図ります」と記載しています。 なお、現在本市では電池類回収ボックスを拠点に設置し、乾電池、ボタン電池、リチウムイオン電池等を回収しています。
2	収集運搬費の改定がこれまで置き去りにされてきている。一般廃棄物のリサイクルを推進するには経費が伴うはずですが、リサイクルばかりに目を向けずに、推進するための費用にも目を向けた基本計画の構築を望む。	ごみ処理費用の負担のあり方については p.17の「処理費用の負担の見直しを総合的に検討します」に包含しています。 なお、廃棄物の適正処理（収集運搬含む）は、ごみの減量・資源化の大前提であると考えています。
3	PFASの河川への流出が、西区その他の最終処分場が流出もとなのではないかとの指摘がなされている。本計画案にはなにも言及がないが、入れるべき。	PFASについては、本計画の上位計画である「神戸市環境マスタープラン」改定案 p.12の基本方針4「安全・安心で快適な生活環境の維持」に、「法令等に基づく着実な環境監視の実施」として包含しています。

### （2）具体的な事業等に関わるもの

	意見の概要	市の考え方
1	ごみ発電をもっと積極的にやり、発電所としてアピールすれば市民の目線も変わると思います。施設建設にはお金がかかりますが、出来た電気が売れば実際の運用の費用は低いと思います。また、プラスチックの分別を見直し、燃料としてクリーンセンターの焼却に利用してはどうか。 プラスチックのリサイクルの効果が市民にわからない。	いただいたご意見も参考にしながら、今後本計画や関連計画の内容などを踏まえ、毎年度の予算編成や事業執行段階で検討してまいります。 なお、容器包装プラスチックの分別については、燃えるごみの減量、焼却による温室効果ガスの排出削減や資源循環に寄与しています。

2	容器包装プラの分別の意義がわからない無駄に面倒なだけなので廃止すべき。
3	自治会に入っていない住民に、自治会がクリーンステーションを使わせない事件が神戸市内でも発生しており、神戸市は傍観するのではなく、当事者として、市民、住民に寄り添った対応をしてほしい。